

## 見えにくさに困難を抱えた児童生徒のための 「日用視野測定ツール」を開発しました

目が見えにくい児童生徒の見え方について、学校等で評価するためのツールを開発しました。本ツールは、iPadで動作し、AppStore（アップストア）にて無料でダウンロードできます。一度に見える範囲を教育的に評価するためのツールです。

昨年度開発した、日用視力測定ツールは、どのくらい細かなものを見分けられるかを測定するためのツールでした。本ツールは、どのくらいのサイズの文字や数字を、どれくらいの範囲で見ることができるのかについて測定することができます。この範囲のことを、本アプリでは日用視野と呼んでいます。

行を飛ばして読んでしまう、漢字を部分的に見間違えてしまう、地図内を検索することが苦手といった児童生徒の見える範囲を、本ツールを利用して測定しその困難の様子を探り、支援に生かすことができるようになります。本学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センターに通う学習障害のある生徒は、縦書きの文章を読むことが苦手でした。日用視野を測定したところ、縦の日用視野については、大きな文字で提示する必要があることが示されました。このように日用視野の測定は、視覚障害のある児童生徒だけでなく、学習障害等の児童生徒の実態把握にも役立つことを示唆しています。

これまで、どれくらい細かなものを見分けられるかについて測定するツールは多く開発されていますが、見える範囲を測定するツールは数少なく、文字や数字を用いて見える範囲を測定するツールは世界的にも少ないのが現状です。本ツールにより、これまで測定しにくかった見える範囲を測定し、特別支援教育がより一層充実することを目指しています。



本研究は、科学研究費補助金 基盤研究（C）「弱視者等の読書評価と教材表示支援システムの開発と評価」（課題番号：23531302）の補助を受けています。

### 【お問い合わせ先】

広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座  
氏間 和仁  
TEL:082-424-7175 FAX:082-424-7175